1月6日 木曜日 5日発行 昭和30年西暦1955年
内外タイムス THE NAIGAI TIMES
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話(代表)京橋(56)8646 (直通)販売(〃)0437広告(〃)3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話代表芝(43)1163番 東京振替貯金口座 170071番
第2968号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号) (中華民国郵政認局第二類新聞・内政内算証登報僑内台警字第0136号)
4版

天気予報 今晩 北の風曇、北部時々雪、南部雨かみぞれ 明日 北の風強まり曇後晴、北部山沿い雨

あすの暦 1月6日・木 旧12月13日 月齢 11.8 日出 前 6.51 日入 後 4.42 月出 後 2.15 月入 前 4.16 満潮 前 4.45 後 2.35 干潮 前 9.30 後 10.05 (中潮)

いよいよ盛り上る 総選挙前哨戦

五党首陣頭に遊説 今までにない激しい舌戦


鳩山 首相

緒方 総裁

鈴木委員長

河上委員長

黒田 主席

鳩山首相、河上右社委員長はいずれも四日西下し、五日には緒方自由党総裁が空路大阪へ、さらに六日には鈴木左社委員長が九州に向かう予定で、黒田労農党主席はすでに岡山入りをしているなど与野党五党首の陣頭遊説で各党の地方舌戦は新春早々激しく盛り上ってきた、これら五党首を中心に各党は引続き首脳を動員し、一月廿一日の国会の自然休会あけまで北は北海道から南は九州と全国各地に総選挙前しょう戦を繰りひろげ、一月下旬の解散、二月一日ごろの選挙公示をまって本格的選挙戦に突入し、二月下旬の総選挙で一気に雌雄を決しようとねらっている

こうした舌戦に並行し、各党首脳は随時帰京して公認候補の決定、選挙資金の獲得、選挙スローガン政策の決定など総選挙態勢の完成を急ぎ、一月中旬の党大会で最終的にこれらを決めたうえ、再開国会で政府の施政演説とこれにたいする野党質問を通じ政府与党ともそれぞれの主張を国民に明らかにする段取りである、これら再開国会の論戦は地方遊説戦と同様すべて二月末総選挙を直接目標としているだけにいずれも現実離れのした宣伝的公約を競い、相手方に決定的痛手を負わせようとねらうので、論戦は今までにない激しさと熱を見せるだろう

これまでの遊説戦を見るとまず政府与党は ソ連との 戦争状態の終結、中共貿易拡大を中心とする貿易の躍進、自立経済の達成、秘密外交の打破、社会保障、住宅問題の積極的解決等をかかげ『第二次鳩山内閣実現の場合にはこうした政策を逐次 実行する』と 呼びかけ、指揮権発動をはじめ吉田政治を痛烈に批判している、これにたいし自由党は鳩山・重光外交は二枚舌のぎまん外交であるとし、その政策は選挙目当ての宣伝政策であるときめつけ『寄合世帯なにするものぞ』として一千億円の減税、家族制度の復活反対、徴兵制度の反対等を中心とする十大政綱をおしたてて舌戦に臨んでいる、一方左右両社会党は総選挙後の統一を旗じるしに『吉田秘密、鳩山ぎまん外交の排撃』『憲法改正、再軍備反対』『汚職疑獄など保守腐敗政治の打破』を叫び、革新政党による完全独立と国民生活の安定、自立経済の達成を訴えている

緒方総裁大阪へ 緒方自由党総裁は大阪財界人との懇談のため五日午前十時四十分羽田空港発日航機で大阪に向った

重光外相あす九州へ 重光外相は床次外務政務次官、杉原民主党政調副会長らとともに六日午前十時四十分羽田発の日航機で西下、大分、別府、鹿児島など各地の演説会にのぞみ十一日帰京の予定

米、完全予防を保証 ビキニ補償解決 対日関係好転せん

水爆実験

【ワシントン四日発AP＝共同】米政府当局者は四日、日本がビキニ水爆実験の補償金を二百万ドルとすることに最終的に同意したことにより日米関係はこんご好転するものと期待している、またこれは総選挙を控えている鳩山内閣が米国との間のこのような微妙な問題を解決の方向に進めて行くことができると考えた良い兆候とみられている、このビキニ補償の解決はとにかく来る総選挙での民主党の地歩を強化したものと考えてもよいだろう

一方、米当局者はこのビキニ補償の解決によりこんごの原水爆実験に当って、日米両国の科学者が政治的にではなく、より科学的に対策を練ることになるものと考えている、これら米当局者は今秋に予定されている大平洋上の実験では完全な予防措置がとられることになろうと保証している、米原子力委員会はこの実験に当っては実験地域への立入禁止はもちろん、実験前に十万呎の上空における風向き測定まで行う計画といわれる

国連アジア経済委貿易会議 あすから香港で開く

【香港四日発ロイター＝共同】アジア極東経済委員会の貿易小委員会は[illegible]間香港で欧米[illegible]の貿易増加対[illegible]一回会議を開[illegible]本、ソ連を始[illegible]

イーデン外相来月末訪印

【ニューデリー四日発ロイター＝共同】[illegible]

防衛問題など協議 ラ議長、重光外相会談


重光外相(左)と握手する(右へ)アリソン大使、ラドフォード議長、ハル司令官

ラドフォード米統合参謀本部議長はアリソン大使、ハル国連軍司令官とともに五日[illegible]外務省に重光外相を[illegible]政治、軍事情勢について意見[illegible]するとともに日本側から防衛分担金削減、小笠原諸島の返還などについて日本側の希望を述べた模様である、なおラドフォード議長は同日午後四時十羽田発の軍用機で帰国の途についた

ラ議長、航空自衛隊の増強に賛成

信ずべき筋によれば重光・ラドフォード会談で両者は日本側の防衛分担金を五千万ドル削減する問題と日本の自衛隊を増強するため米国の装備を使用する問題について話合った、ラドフォード議長は日本の自衛隊のうちとくに航空自衛隊を早急に強化することに賛成しているものとみられる(UP＝共同)

米、一部削減応ずか 防衛分担金

【ワシントン四日発UP＝共同】(ヘンスレー記者)米政府当局者が四日語ったところによれば米政府は日本駐留米軍を維持するための日本側の年間分担金の一部削減に応ずる用意があるようである、日本政府は現在もしこれら防衛分担金を五千万ドル(百八十億円)を削減できれば、それだけ明年度の自衛隊関係予算を増加したいといっている、米政府当局者はこのような日本の考え方は『非現実的』だと主張し、日本政府としては防衛分担金削減いかんにかかわらず自衛隊の実質的増強のための予算措置を講ずべきだと考えている たまたま日本を訪問中のラドフォード米統合参謀本部議長はこの問題について日本側と話合っている

アジア各地の流行



大繁昌の喫茶店 娘はナイロン上衣全盛

京城

[illegible]よって日本の流行を追うのも[illegible]なか熱心であるがヘップバ[illegible]ン・スタイルの髪型だけは韓[illegible]女性の間に人気がない[illegible]娯楽の種類が少ない韓国で[illegible]映画は最大の娯楽だが、韓国[illegible]国は戦後数作品を出したもの[illegible]質、量ともに低下したまま[illegible]ので人気はない、また日本語[illegible]わかる韓国民の間では日本映[illegible]観賞の希望が強いが、韓国政[illegible]当局の方針で輸入されないの[illegible]自然、米英仏伊などの欧米ものが幅をきかせている、韓国映画の不振に比べて、逆承喜を生んだ朝鮮だけに舞踊は民族芸術として盛んでまた戦後は世界的なバレエ熱にのって韓国でもバレエ研究所は大繁昌、ここでも小さな子供が未来のバレリーナを夢みてケイコに余念がない

○…映画や演劇を見て、帰りにタバンでコーヒーを飲んで…というのがこの韓国では唯一のアベック・コース、日本よりは人目がうるさいこの韓国では、公然と腕を組んで歩けもしない、〝おとなしい〟アベックたちは結局タバン(喫茶店)で一杯四十ホワン(近く六十ホワンに値上げ)のコーヒーを飲んでタべるぐらいしかないわけ、おかげでタバンは大はやり、当局の調査(五四年十一月)では京城市内だけで正式登録のものが三百四十三軒、モグリを入れるとグッとふえるが、このタバンも戦後韓国の流行の一つといえよう

○…ところでもう一つ、流行といえるかどうかは知らないが、五四年三月に店開きした京城市の市営典当舗(質屋)が大はやりだそうだ、毎月貸出し平均三千件、韓国大衆の生活がインフレの激流にあえいでいることがよくわかる次第【写真は京城のヤミ市】(京城発＝共同)

粋人辞事

初荷

岩佐東一郎

正月の商家の行事の一つに、初荷がある。この初荷もいまではだいぶさびれたが、私が子供のころは、東京の下町の正月は初荷で一そう華やかにぎわったものである。

そのころはトラックもバタバタもなかったから、初荷を積んで引きだすのは馬力だ。車力も紺の香かおるおしきせの印半天に、豆しぼりの手ぬぐいで鉢巻きというイキな姿。馬も紅白の手綱はもとより、五色の布やらジャンシャン鈴で飾られて、一段と馬っぷりをあげている。馬力車に積んだ荷物も、紙旗やら祝い提灯までつけて、その荷の上にほろ酔いの若い衆たちが乗ってキヤリの一つも唄おうという景気のよさだ。

歳時記によれば、初荷は『二日、商家では初売の荷を賑々しく飾り立てて、馬、車、トラックなどをもって送り出す。これを初荷という』とある。もっとも、この初荷には裏があって、買い手があろうとなかろうと、とに角も初荷の景気を見せることが、商家の宣伝の大切なところなのだ。だから多くの初荷の中には、なれ合いの初荷もあって、一応、景気よく初荷を先方へ送りこんでおいて一、二日して、夜更けにこっそりその品物を荷車で引取りに行ったり、または山と馬力に積んだ荷箱の中味は空っぽだったりという苦肉の商法もあるらしい。



二日の行事といえば、初荷のほかに、掃き始めもあるし、農家では鍬始め、それから初湯、初夢、宝船、などと色々ある。古い歳時記にはもう一つ姫始めが必ずのっていた。この姫始めについての考証は、先輩粋人諸公が学のあるところを十分に披瀝していることだから、いまさら説明するまでもなく、姫始めとは『二日の夜今年はじめての夫婦の交わりをする』ことと一般に知られている。まことにめでたい行事で、なるほど、大晦日から元日にかけては、どちらもそのひまがないだろうから、『元日やわが女房に一寸惚れ』したあとの良さで『足りなくて宝船までもんでいる』ことになるであろう。ことに江戸っ子はヒとシをいちがえるから『ヒメハジメ』が『シメハジメ』になっても意味は通じるわけだ。

閑話休題。私の家は、親父の代までは日本橋本石町で染料商をやっていたから、子供のころは、二日の初荷を見に神田ニコライ堂下の自宅から日本橋の店へ出かけていった。番頭も中僧も小僧も、この日ばかりはみんな身ぎれいにして『坊ちゃんおめでとう』とニコニコしてあいそがいい。いつもは苦虫をつぶしたような親父まで『おい東坊、お小遣いをやるから春どんと買いに行っておいで』と風向きがいい。そのころのことだから、お小遣いといったって五銭か十銭だ。小僧の春どんをつれて室町の『ひょっとこ団子』で『みつ団子』か、近所の菓子問屋で『福袋』といって駄菓子を取りまぜたのを買うのが例だった。

そうして、買って来た団子か駄菓子をかかえて、店の裏手の倉庫の日だまりへ行くと、焚火しながら、店[illegible]車力たちが一ぱいきげんで高笑いして[illegible]『おお、坊ちゃん、今日はいいおべべ[illegible]いなあ、そのおべべ[illegible]姐やが縫ったんで[illegible]』『うぅん、お母ちゃんが夜なべに縫[illegible]だい』『へえ、夜なべにねエ』と、[illegible]みんながくすくす笑い出す。[illegible]えと何だね、夜なべにこしらえた坊ちゃ[illegible]から、おべべも夜なべでこしらえるって[illegible]なんですね』と車力がいうのを切っかけ[illegible]みんながどっと笑いくずれてしまう。何[illegible]かしいんだか子供の私にはさっぱりわ[illegible]かった。『坊ちゃん、今夜はね、お父ちゃ[illegible]お母ちゃんがお相撲とるから寝ないで[illegible]るんですぜ。どっちが勝つか面白いか[illegible]

その晩、両親の[illegible]を見るつもりの私だったが、布団へもぐ[illegible]すぐ眠りこけたので[illegible]

日共の微笑み

ジグザグコース

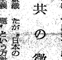
日共では元日付のアカハタ紙上で『一切の極左主義的な冒険主義とはきっぱり手をきる』ことを『国民大衆の前に明かに公表』した。もし日共が本気で〝一切の極左主義的な 冒険活動〟ときっぱり手を切るなら、現在地下に潜っている連中はこぞって姿を白日のもとにさらすべきである。地下組織はそのまま軍事組織である。この非合法組織をそのままに温 存しておいて冒険 主義はやめだーといったところで、常識のある人間ならだれも信用しないのが当然である。

いまのところ徳球、野坂は北京におり国内では地下組織を志賀義雄、志田重男椎野悦朗の三人が握っているといわれている。こういう連中が地上に出て『合法一本槍でいきます』と誓わない限り、冒険主義はやめないとみるのが正当だ。こうみると、日共の公表もモスクワ、北京の指令に従ってニヤニヤ笑っただけのものに過ぎないことは明かだ。総評を操って尼鋼や日産、室蘭日鋼とストをブタせたが〝日本の 労働運動の 当面する諸問題〟という方針が海外から伝えられるとたちまちおとなしくなるなど、少し自主性がなさすぎる。モスクワや北京が『怒れ』といえば眼をむいてみせ、『笑え』といえばニヤニヤするのが日共の実体である。

それにしてもマレンコフや毛沢東の微笑と違って日共の微笑みはすぐインチキだと化けの皮を見破られるところに〝マルクス・レーニン主義的従属党〟の悲哀があるようだ。かつて国際派と主流派がケンカしたとき、両者の代表が北京へ行って仲裁してもらった。日共はモスクワ、北京に従属している。

『弟子をみて師を知る』という言葉もある。日共の微笑みをみてモスクワや北京の微笑みを知ることもできそうだ。

吉田前首相的な、まるきり平和共存を否定するのも困るが中共、ソ連の微笑みに手放して大喜びの連中にも困ったものである。(枝)【写真は徳田球一氏】



ガット総会再開

【ブラザヴォル放送四日RP＝共同】クリスマス休暇のため昨年十二月廿二日から休会中だったガットの第九回総会は四日朝、ジュネーヴで再開された

二月末総選挙へ 根本官房長官談

根本官房長官は五日午前の記者会見で次のように語った 衆議院解散の時期は昨年十二月廿九日の政府与党首脳会議で一応、一月廿四、五日ごろを目安とし、選挙公示はなるべく速に行って二月末には総選挙を終る予定を立てている

内外抄

鳩山首相、早くも引退をいいだす。あの手でなかなかくゼスチュアはお上手。

◇

民主党がソ連との戦争状態終結を確認した。先様の確認が先決だが、成程『自主外交』

◇

ビキニを二百万ドルの慰謝料で手を打った。不服はあるがそこぞ『政治的』に我慢するサ。

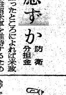
◇

農民や労働者を褒賞すること、『労働英雄』の真似でも、人気とりでも、エエことはエエ。

◇

小学校の入学願書差出しに徹夜の座り込み、馬鹿な親の子は大いに吟味の要ありか。

ふれがい川柳



電線に凧がからんで場末暮れ 新宿 齋藤耕月

手におえぬ疵を残して幹事去り 亀有 野猿坊

金ブチはメッキ焼酎のんでいる 千葉 永田としを

【賞】女レス俺もやられて見たくなり 千葉 松崎光水

市況 底固い商状

暮れ以来一旬近く連騰をたどっただけにさすがに先導株には利食賣を誘って全般は騰勢一服の振合となったが、下値にはなお大証券中心の根強い買気が見られるので市況は揉合のうちにも底固い場面を示している、特定株はほとんど見送られて動意なくマバラの小口取引が散見される程度で値動きもほとんど前日値近くに寄付いた、雑株は[illegible]

東京株式仲値 □新株落△配当落 (5日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		日本曹	60	三菱化	115	カボン	57
東海上	276	旭電化	80	旭化成	281	三井物	164
郵船	—	三菱造	76	山陽パ	81	第一物	104
新重工	—	三菱重	68	日本パ	77	白木屋	176
日清紡	287	石川重	89	国策パ	80	高島屋	84
味の素	—	播工	128	東北パ	93	日活	91
三越	—	東洋ベ	107	大東紡	77	松竹	203
平和不	387	三井造	102	商船	60	東宝	1340
三井金	96	日立造	48	三井船	60	大映	190
三菱鋼	86	浦賀	51	飯野海	52	日清粉	153
日鋼	68	日平	35	西武	332	日麦酒	174
住友金	84	古河電	78	藤田興	213	朝麦酒	194
三菱鉱	49	東芝	74	東京ガ	84	キリン	204
古河鉱	68	三菱電	98	東電	440	宝酒造	89
同和鉱	88	日立製	77	日銀	2300	野田醤	340
住友炭	70	小松製	70	東銀	78	日本粉	127
三井山	63	日本光	169	三井銀	69	昭和産	107
北海炭	60	東京光	—	富士銀	87	東洋醸	82
東邦亜	60	キヤノ	168	日証金	83	合同酒	94
日石	88	日軽金	166	大正海	101	三楽酒	80
帝石	73	東洋紡	130	住友海	120	台糖	196
昭和石	84	鐘紡	135	安田火	126	明糖	104
大協石	150	大日紡	82	千代田	88	日水産	79
東燃	122	日東紡	64	鋼管	68	甜菜糖	156
				日製鋼	67	大阪糖	149
				八幡鉄	64	森永	249
				富士鉄	55	明菓	155
				神戸鋼	64	王子紙	178

浅草の鬼 (41)

濱本浩 作 栗林正幸 画



芝木は、独り合点して、悦に入った。

[illegible]

ヘリオトロープ (三)

『気のせいだろう』

梧郎は、軽く突き放した。が、老優芝木は、承知しない。

『ねえ旗野君、おせっかいのようだが、いわして貰いましょう。君と、梅ちゃんはね、同じく河野先生という、元木につながる枝なんだぜ。わたしも、まァそういうことになるがね。元木は伐られても枝は枝だ。その枝が離ればなれに立っている。おまけに、そこは敵の陣地だ。男の君は平気でも、小娘の梅ちゃんは、心細いぜ』

『大丈夫だよ。夏川君が、ついているもの』

『妬くなッ』

芝木は、ムキになり、感情をこめていった。

『さいぜん、舞台の袖で、夏川さんに逢った。都合をきいたら、オー・ケイだという。それでは、久しぶりだ、旗野を誘って、晩飯でも食おうといったらば、あの男まさりが、わたしに抱きついてよ、泣き声になった。いじらしいったらありゃしない』

『それァ、夏川君にも、いゝところはあるさ。然し―』

『止せッたら。実はねー』

芝木は、梧郎の耳に口を寄せて

『内証だがね、当ったのよ』

相恰を崩して囁いた。馬券である。

深酒もせず、女色にも凝らぬ芝木だが、競馬、競輪の道楽は、若い細君も許していた。そこで、四、五年前から、観音堂の東広場に開場した、都営馬券売場の常連であった。

『当ったところで、本命では知れたものだ。持って帰って、かみさんに自慢するほどでもないからね、内輪の四人で、飯でも食おうという寸法なんだ。そういったら、君も厭やとはいうまい』

[illegible]

特集

瓦版

お馴染み瓦版も新春を迎え面目を一新、いよいよ内容を充実させていこうとハリ切っております。そこで松飾りの街に拾ったスペシャル・ニュースの特集してジャランジャランと第一報を—

【写真は浅草の観音様に初詣でする姐さんたち】



ワザと選挙違反……留置場入りがコツ
代議士に食いつく珍商売？

総選挙目あての新商売をご紹介しよう。これを実行に移そうと着々準備している男は山谷の住人で元手は立候補者の名刺百枚（運がよければ？そんなにいらないかも知れない）だけあればいいんだそうだ

—選挙戦に入ったらこの名刺をばらまいて、なるべく早く選挙違反で警察に捕まるようにする、早く捕まれば警察のメシをただで食えるし、ポン引みたいな客引現行犯などと違って選挙違反だと、きっとえらい人を知ってるだろうというので留置場の中で他の留置人より大きな顔をしていられる…別に立候補者や、その友人に頼まれてふろう多くの代議士は落しても、あの方だけはどうしても当選させてあげたいと思って…』と、まことしやかに供述する、困る反面『有難き奴！』とほくそ笑むのは立候補者の方で『頼みもしないのにクサイ飯を食ってまでもワシを当選させようと努力するうい奴じゃ』と、早速差入れが来る、ここまでは殊勝なんだが、あとが本番、差入れに来た運動員にそっと『あっしが出たら何とか色はつけてもらえるでしょうナ』返事によっては『戸別訪問を頼まれた』ってもらしますぜ』と居直るんだそうだ。『やられた—』とさわいだところで、何しろ溺れる立候補者は何とやらで、恐喝とは知りながらもうことで、『まァまァ』という差入れはしてくれるし、出所する時にはポンと車代にありつける…もっとうまくやれば、この失業の世の中に職にもありつけよう…てな接配の珍商売だそうだ

菓子 喫茶 洋酒　大井町 阿波屋

金髪パンは偽せもの
あやかってタンカ切らる

新橋駅から田村町一丁目交叉点に向って都電通りを行くと、ちょうど乗坂ビルの前あたりに、金髪の美しき姫君が『兄さん遊ばない？』と酔客の袖を引く、この辺一帯は、夜七時を回るころから、軒並み—といっても二、三間おきだがお値段の高いことでは都内一の姫君たちがズラリ、みんな黒髪なので、この金髪の娘が特に目立つある体験者の語るところによると『アメリカ女のパン助かと思って金二千円也でちょい遊んだら、何と染めてなくて黒いとこもありやがんのサ、全くの日本人で、キハツで赤くしたらしいんだ、新年早々早バカ見ちゃったよ、でもサービスはこってりだったぜ』だとのこと、ただ酔っ払って、アメリカ女と早合点して、あとで気付いてひらき直ったところで『ヤボだね、この人目玉どこへつけてんだい！』などといわれるのがオチ

素股をチラリ、しゃなり
コーヒー一杯で半スト拝観の店

コーヒー一杯でストリップまではいかないが、まァもものつけ根くらいは十分ちらりほらりと見られる店がある、日劇地下中二階のAがそれで、蓄音からジャズが流れサービス嬢が十人近く、いずれもお揃いの、前のわれたスカートに、短いパンツをはいた姿で『いらっしゃいませ、何にいたします？』とシャナリくと注文をきく、ちょっと腰をまげるとチラリ、ちょいと歩いてはチラリで、とてもアベックには向かないが、田舎のオッさん連中をブッたまげさせるには十分の効果がある、但しコーヒー一杯九十円

酒豪の肉体派
道産娘女給

その乗坂ビル横の電車通りにトリスバーのMなる店がある、Mにいる女給さんの中に通称ネコちゃんというまるでマリリン・モンローとジェーン・ラッセルをチャンポンにして、ニキビをちょっとふき出させたような道産娘（北海道産の娘）がいる、好きな男がかってはいたそうだが現在はいないそうだ、気っぷはよし、顔は十五人並、クリクリとした目玉がちょいと愛嬌、映画に誘っても〝いやだ〟とごねるが、〝飲みに行こう〟と誘えば、〝OK〟と心よく引受ける、だが、酔わして然して…なんて気持は起すだけ無駄、何しろ甘二歳というのにベラ棒に酒が強く大抵は男が介抱されて車に乗せられるのがオチ

情死秘話
哀恋邪恋
第十三話
青春三人心中（一）
邑井玄吉
土端一美 画



深夜のひめごと

昭和十一年の一月、門松がとれて間もない十日の夜更けだった。看護婦の井口波子（九）が便所へ行く途中、診察室の前を通りかかると人気の無い筈の部屋の中から、異様な男女のささやきが聞こえた。はッと思って立ちどまった波子が内側からカーテンのおろしてあるガラス窓に身を寄せると、『政一さん—ほんとうに大丈夫—私を捨てないと誓って下さる？』『寧ちゃん、何をいうんだ。僕は…僕は…もう君なしではいられないんだ…あゝもう僕は…』『う…うれしい政一さん…私を捨てないで…捨てないで…』

それは明らかに男女の痴態を物語るひめごとであり、しかも男はこの山中医院に寄食している岩下政一で、女は波子と同僚の看護婦松村富江であることは、あまりにも明らかであった（あゝ、やっぱり…やっぱりそうだったのか…）

波子は、全身の血が一時に凍りつく思いでしばしその場に釘づけにされてしまったが、カッと燃え上る炎のような嫉妬の感情に胸をやかれると、まるで半狂乱のようになって、便所にも行かずそのまま看護婦部屋にころがりこむなり、夜具を頭からかぶって嗚咽しつづけた。

波子のあわただしい足音に嫌いたのか、診察室からあたふた飛び出して来た男女—それはまぎれもなく政一と富江の二人であった。

岩下政一（九）が伯父にあたる山中医師を頼って、富山県氷見郡からこの栃木県那須郡H町に来たのは昨年の三月で、慈恵医大への受験勉強のため、漸に父の許しを得てやって来たものだが、いつか看護婦の富江と恋におちいり、二人の間はすでに抜きさしならぬ仲になっていた。富江は那須郡親園村の農業松村半二郎の次女で町の裁縫学校に通っていたが、中退して看護婦志望で山中医院に住みこんだのが次だ今年十九の丸ぽちゃの愛らしい娘だった。

二人がはじめて恋を語り合ったのは秋祭りの夜で、伯父夫婦の許しを得て祭り見物に行った帰り道、暗い街道にさしかゝると、それまで何ごとか思い悩む風でうなだれたまゝ歩きつゞけていた政一が、狂暴に近い荒々しい動作で、いきなり富江をだきよせるなり、唇を奪った。富江はあッと叫んだものの、ひそかに思慕の情をよせていた政一であったから、めくるめく激情に我を忘れ失れてはじめての甘美な陶酔境に身をまかせたのだった。

こうしてその夜をさかいに固く結ばれた二人だったが、それから間もなくやはり看護婦志望で山中医院に住みこんだのが次城生れの井山波子で、奇しくも二人と同じ年であり、政一の容貌が波子の亡兄に生き写しであるところから、彼女もまた政一に対してひそかに恋情を抱くようになった。が、内気で気の弱い彼女は、政一に愛の告白をするすべもなく、悶々とひとり悩みつゞけていたのだが…。

その夜、時計が一時を打つころ、足音を忍ばせて看護婦部屋に戻って来た富江、波子は寝たふりをしてそっと富江の様子をうかがっていたが、枕許のスタンドをつけ、豊満な肉体もあらわに、寝間着を着かえる富江の上気した肌がねたましくてならなかった。

あすの運勢（三）
一月六日　高島 俱山

▲一月生—内外共に不安を生じ彼れ是れ上と気迷い自ら失敗を招く注意▲二月生—何事にも苦労はあるが稼業大事と辛抱すれば無事である▲三月生—何事にも都合よく順序よく進展し氣楽である▲四月生—自他共に不用意より災禍を蒙り或は迷惑損失あり易い警戒せよ▲五月生—勢いが過剰に過ぎ却て災害を招く事あり控え目に進退に注意せよ▲六月生—物事有利に進展し新規目的叶い利益あり開業結婚造作移転よし▲七月生—すべてに不如意に陥り不結果を生じ易い殊に突発事故に注意▲八月生—我意を生じ剛情から身を誤り易い控え目に慎重に進退すべし▲九月生—人氣もあり信用もあり繁栄する開業造作結婚吉▲十月生—何事も環境事情悪化して他動的災害起り易い注意▲十一月生—物事に認識を誤り誤算を生じ失敗を招き易い▲十二月生—機運好転して順調に進展する開業造作移転結婚吉

モダン歳人記
良寛と貞心尼

天保二年一月六日、越後国上山の五合庵で童心の詩人良寛和尚は七十五歳で天寿を全うした。

彼は出雲崎の素封家に生れながら、十八歳で出家すると一処不住、無欲恬淡として風月を友とし、旅に日を送り、『いざ子供山べにゆかむ桜見に明日ともいはば散りもこそせめ』と村童と戯れ遊ぶことを好んだ。『盗人にとり残されし窓の月』と一枚看板の古布子を泥棒に盗られてもそういって平然としているような超俗の解脱振りを示していたが、彼の臨終に美しい貞心尼という尼さんの姿が影の形に添う如くそこにみられるのは美しい人生の彩りというべきだろう。

良寛と貞心尼は祖父と孫ほどの歳の違いがあった。彼女は師の病篤しときいて前年の春から看病に駈けつけてきた。『いついつと待ちにし人は来りけり今は逢見て何か思はむ』貞心尼を迎えて良寛はこのように手放しで喜んでいる。老らくの恋などというには余りに淡々たるものだが、聖フランシスとクララの聖い愛を人の世の恋と数えてはいけないだろうか。『生き死にの界はなれて住む身にもさらぬ別れのあるぞ悲しき』とは老師の死を嘆いた尼の歌だ。（鮭）

女心陥落虎の巻
母性愛あおりもてた男
バアへ行くなら〝おひや〟に限る

『わたしはこうして女にもてた』という投書があった—小生は廿八歳、ある商事会社の社員である、ある安スタンド・バアへ友人二、三人と連れ立って出かけた、たまたま胃腸をこわしていたので、店でまずおひやを一杯注文して薬をのんだ、その日はビール二本で黙って帰った、二回目に行った時もやはり前同様、こんなことを二、三回続けていると、どんな物おぼえの悪い女でも記憶してくれるもの、三回目くらいには『どうしたの？お薬なんかのんで？』と同情してくれる、そこで『いや、ちょっと胃腸を悪くしてね、心配だから薬も一緒にのんでるんだ』『だったら止めたらいいじゃないの』『それが止められない、女房がいるわけじゃなし、恋人がいるわけじゃなし、家へ帰っておふくろ相手にコタツへ入ってもこの青春の血はひえんからね』とか何とかいっていれば『あらこの人独身なんだわ』と、相手も気を許す、さてそこであと二、三回は手を出してはいけない、このへんでよかろうと思った時、看板になったら『お寿司たべない？お腹すいちゃった、家へ帰ればおふくろがちゃんと用意してくれてるんだけど折角寝てるとこ起しちゃ親不孝の見本みたいだからネ』と女の母性心理を逆に利用する、さてそこで『にぎりの前に軽く一杯』と誘いかけて、酔わせて、終電車を落して、出へ—、どうも金がかかるが出へいっても決して一回で手を出してはいけない『ごめんね、僕の我儘から君を外泊の道連れなんかにしてしまって…』とあやまりながら、『女中さん、布団二つ別々に離して敷いてね』と大きな声を出す『僕疲れたから先に寝るよ』と寝巻に着かえたらさっさと布団をかぶってしまう、すると彼女はれたものではない、そこで必ず布団に入ったところですぐ寝つか『あたし眠れないワ、お話しても いい？』と小さな声できく、『うん』と生返事をしながら『いいよ』と答え、二言、三言話す、以下の要点をかいつまんでいうと自然にするすると（裏面は）ということである

（大田区・T生）

艶流世界譚
…（スイス）…

平和なアルプスの山間の村へ大法螺吹の薬屋が乗りこんできました。四百四病はもとより恋の病までの薬をもっているというふれこみで素朴な村民達をあおりたてました。その実、みんな出鱈目の薬を調合して渡すのですが、いわしの頭も信心からで、『はあるかネ—』『あゝあると も、これを飲むがいゝ』薬屋はいいかげんからでたらめの薬をだして売りつけ、その日のうちに村をでて行きました。裏山にでてぽんやり立っていたズルヒッツはどうしたか急に春心を覚えました。で近所にいた村の娘マリーとよろしくなったのですが、二人が天国に行きかゝったとき、ふとズルヒッツが前の畑をみると、おゝそこにいなくなった羊が草を食っているではありませんか。『何てよくきく薬だんべ』薬屋がくれたのは媚薬だったそうです。薬屋の催眠術にかゝって、腰痛が治ったり、リョウマチがシャンとするようなことがあるから不思議です。無学者のズルヒッツは自分の飼っていた羊が一頭みえなくなったので、早速この薬屋のところへとんでいきました。『いなくなった羊を発見する薬

54年の人氣女性
第四回中間発表

またも岸、美空嬢の競り合い
驚異的な北原三枝嬢進出

本社主催『五四年の人氣女性は誰か？』の新春初の開票が行われた、その第四回中間発表によると投票は日増しに熱気を帯び、片や『君の名は』の岸恵子、片や遠くハワイ、台湾の諸者から声援殺到する美空ひばりの圧倒的な得票で、初期に見られぬツバ競り合いが演じられ、次いで十代の人気者江利チエミ、中村メイコ、雪村いづみが仲良く漸進している、なお、北原三枝が驚異的ダイビングでのし上ったのが注目される




九三八八	岸　恵子
七〇七〇	美空ひばり
七〇三四	高峰　秀子
六七五二	江利チエミ
五三九二	中村メイコ
四八八三	香川　京子
四六六〇	雪村いづみ
四四五三	有馬　稲子
四〇〇六	乙羽　信子
三九五三	若尾　文子
三八〇五	京　マチ子
三五三五	北原　三枝
三五二五	久我　美子
三四三三	加茂　幸子
三四〇八	ペギー葉山
三三四七	八千草　薫
三三四三	神楽坂はん子
三二四一	貝谷八百子
三二五一	丹下キヨ子
三一二九	新珠三千代
三一一七	新橋まり千代
三一〇一	山本富士子
三〇五八	田中　敬子
三〇三五	奈良あけみ
三〇一五	藤沢　嵐子
三〇〇五	宮古かすみ
二九九七	越路　吹雪
二九四四	伊東　絹子
二九一一	平林たい子
二八八三	西崎　　緑
二六六八	星　美智子

新人マンガ
投稿歓迎

スミ書き 構想自由 なるべく時事を織り込んだもの 締切日なし 本社編集局『マンガ係』宛 裏面に住所氏名及び題名を明記のこと 採用の分には薄謝を差上げます

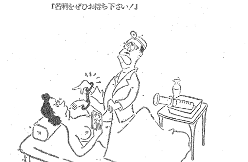


事前運動魂　有吉まこと

『名刺をぜひお持ち下さい！』



一年の計　鈴木・忠三



エロ医師ご用　鈴木常夫

—婦人警官とはお醒洒様でも—



新案餅　柳田要三郎

『オツパイをご馳走してやるぜ』

54年の人氣女性
指名投票用紙

投票者住所氏名	人氣女性名
	一職業—

送先・中央區銀座二の五内外タイムズ社指名投票係・〆切一月廿日

内外タイムス社

原子力が生んだ 天国と地獄

原子力―はたしてそれは〝廿世紀の救世主〟たりうるだろうか？―カギはわれわれの心構えひとつにかかっている、これから訪れる二つの〝未来国〟が、ありのままの姿で解決の道を示してくれるだろう

武谷、服部両権威の案内で 二つの〝未來國〟訪問

太平洋上ビキニ環礁の水爆実験で世界中が大騒ぎしたことなど、もう昔の語り草、廿世紀も終り近いある年―〝理想の国〟も〝悲劇の国〟も原子力利用にはともに数十年の歴史をもつ国だ、案内役は武谷三男博士（立教大学教授）と、服部学氏（東大理学部）乗り物は―もちろん航続力無限、原子動力エンジンの大型飛行機―空気をコンプレッサーで加圧して原子炉で熱を加え、この空気が機体の後部から噴出して飛ぶターボジェット機だ、門松や日の丸のある飛行場を出発、原子力利用の架空国へ―まず〝理想の国〟から訪れることにしよう

失業、住宅難は返上 地上の太陽 手際よく利用

天国

国中にあふれるこの活気はどうだ―群衆の目は希望に輝き、足どりは〝建設〟の確信に満ちている、デパートでは電気せんたく機も冷蔵庫も飛ぶように売れていく、失業者やポン中患者…どこにだってそんなカゲ一つない、いまから数十年前―偉大な原子力革命が起った、政府や科学者はこの〝地上の太陽〟をきわめて慎重に取扱い、もっぱら国民の幸福増進にだけ利用したので、人々は平等に〝この世の天国〟を味わうようになったのだ

一九四〇年代、人類がウラニウムの燃焼に成功、有頂天だった当時には思いも及ばなかったことだが、この国の原子動力源は〝水素炉〟といって全く新機軸の発明だった、特殊なサイクロトロンで陽子や電子を加速して水素ガスにぶっつけてやる、するとウラニウム原子核反応のときの十倍ものすばらしいエネルギーが取り出せる、おまけに〝死の灰〟が全然残らない便利なものだ

〝水素炉〟は数十万キロワの大発電所のタービンを回す、豊富な電力は全国を潤した、汽船、飛行機は

もちろん大陸横断急行列車も原子力エンジン、自動車も蓄電された原子力で音もなく走っている、家庭では炊事もせんたくもスイッチひとつで室内の暖冷房も意のままだ、また豊富な電力を使って砂鉄から大量の〝チタン〟が精練されるようになる、情熱に強くアルミニウムのように軽いので、いまチタン材の高層ブロック建築がぞくぞく建ち始めている、住宅難などとっくに解消した、農村家庭の電化は極度に発達、脱穀、藁まきの高度な機械化、硫安なんかふんだんにできるし、凍土には電線を埋めて暖めたので肥よくな耕作地が出現した、大学の研究室を訪れると、素粒子論研究のある教授はこう語った

が入り、一般家庭に送電され光をさえぎって暗くすると送電が切断、電灯が消えるという仕掛で実際の場合はただこの原理を逆にすればよい

○…しかもこれは同時に空中でスパークする

一グラムの物を燃やすとそのうち熱に変るのは全体の千分の一―つまりたった一グラムというのがいままでの定説ですがネ…アインシュタインによると一グラムのものは一グラムだけ全部熱に変るというんです、われわれはいまこの法則の実現を研究中です、これができると、たとえば―、あなたがたのヒロシマに落ちた原爆は一グラムで二百万トンの石炭に相当するエネルギーを出したそうですが、こんどはその千倍、つまり石炭廿億トンに当るエネルギーが出せるのです

最後にある政界の長老をたずねると、温顔の老政治家はこう語った

昔は科学者が合理的にものごとを考えようとすると、政治家が寄ってたかって、ヤレ現実はそうはいかない―オトナの政治をやらねば―そんなことをいったものです、いまでは自然科学と社会科学とが手を結んですべてが筋道だった世の中になった

子供は不具ばかり 〝豊かな生活〟の夢失せて

地獄

さて、こんどは別世界の〝悲劇の国〟へ―原子力利用は相当早くから手がけ、原子力発電は企業化し生活様式も非常に高い、飛行場には原子力飛行機や原子蓄電自動車が並び、ちょっとみたところこの町の様子は〝理想の国〟にに似ている、だが、なぜかシュンと静まり返って活気がない、道行く人の顔はみんな青白い〝希望と笑いを失った国〟のようだ、いったいどうしたというのだろう？

まず厚生大臣をたずねることにしよう、大臣自身ぐったりとイスにもたれていた〝心配な事件でも起ったのですか〟〝放射能の問題ですヨ、原子炉から出る死の灰の障害がハッキリした形で国民の健康を脅やかし始めたのです〟沈痛な厚相の話によると―

この国は原子力利用が叫ばれ始めたころ、遅れては大変とさっそく原子力発電に着手した、科



鉄管で海中へ捨てたタンクがゴロゴローこれが埋めにいくのだという、発電は進み、廃ろがここ数年理想の国のようにウラニウムを使った普通の員だけでなく一般実用化していない電力が豊富ん疲れやすく、にとんどが白血品物は安くない、デパートにはていた、肝臓障害と医学会議で結論されたが適切な対策はまだたっていない

の時代の貧富の差がまだ解消されないのだという〝町に子どもの姿が少ないようですが…〟〝子どもの出生率が下ったうえ異常児（不具者）が多くなったのです、こんな子どもは国立異常児病院に入れて治療しています〟局長の声はうめくようだった…

でいるが、買えるのはかぎられた人々だけだ〝品物はどんどん生産されるが一般の購買力がなく弱っています〟―と局長は嘆く、原子力利用で国民全体が豊かな生活を楽しめるのではないか…と思っていたが―この国では数千年前の原子力革命のさい、経済や社会機構の切り替えがうまくいかず、昔

炉を無計画に乱造したこと、とも原子力利用が盛んになりのまにか大量の放射能が空中海水にもふえたためらしい、に別れて、こんどは生産者のに各施設を案内してもらう、郊外の原子力発電所へ―高いからは音もなく無気味な煙がのぼっている、付近には灰を

東京・大阪6時間 全國の客車全部を鋼鉄に

今年中に東海道線電化完成

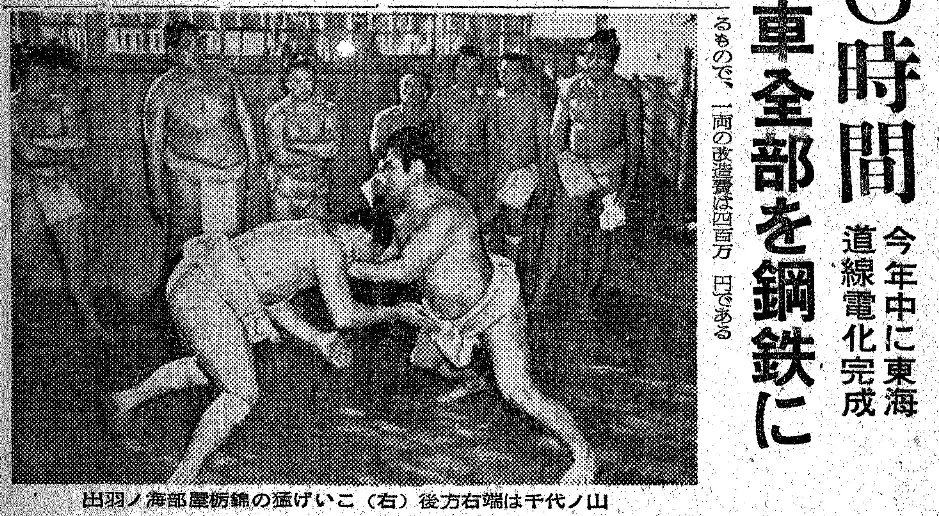
乗客のサービスに頭を悩めていた国鉄ではことしにはいって記録すべき二つの計画の完成を発表、うれしいお年玉として贈った、これは一つは待望の東海道線の電化完成ともう一つは客車が全部鋼体化することで、とくに東海道線の電化が実現すれば東京―大阪間五五三・七キロを六時間で走る超特急車も期待され、国鉄史にとって新しい一頁を記録することになろう

東海道線の電化は大正十四年十二月、東京―国府津間が完成してからちょうど卅年目、昭和九年には沼津まで延長されたが、廿一年から第一次電化十ヵ年計画にとりかかった

東海道線は廿四年二月にまず沼津―静岡間が完成、つづいて浜松、名古屋へと延長され廿九年七月には米原までの運転が開始された、最後のコース米原―大阪間は昨年一部工事にかかり、早ければ卅年度末、おそくも卅一年上期までに完成する見込みがついた、この目標に向って国鉄本庁では工作、運転、営業の三局が中心となって東京―大阪間を六時間で走る超特急の運転計画を進めている

卅年度中にとりあえず軽量客車一編成と長距離用電車一編成を試作するとともに超大型EH10電気機関車廿三両を新造して旅客、貨物列車のスピード化にのりだす

もう一つの話題全客車の鋼体化完了は国鉄がさる廿三年から五ヵ年計画で着手したものだが、予定より三年おくれて本年度中に五百五十両を鋼鉄製の客車に改造するがこれで九千両に上る全営業用客車は全部鋼鉄製となり、国鉄は創業以来八十三年ぶりでどんな辺ぴな田舎へ行ってもガタガタの木造車が姿を消すことになった、木造車の鋼体化は約六百五十両の客車を五百五十両に造り直し、十七ガの車台を廿ガと車内を鋼鉄製にするもので、一両の改造費は



出羽ノ海部屋稽古場の猛げいこ（右）後方右端は千代ノ山

〝電線のいらない夢の町〟



を受けると自動的に送電スイッチ

ちの人気を呼んでいる

悪質の流し獅子取締り

近都内を流している獅子舞のなかには断わってもしつようにくいさがり寄捨を強要したり家人の目をかすめては金品をかっぱらうなど悪質なものがあるのでこれら獅子舞が横行する正月を迎え警視庁防犯課では、この程各署にこれの予防と取締りを指令した、同課の調べによると都内にいる獅子舞の数は約二千名おり、これらの獅子舞の中には次のように都民に警告している

一、獅子舞を断わる場合は最初からはっきり断わる

一、断わってもしつようにくいさがる場合は、会の印半天か会員バッジを付けているかどうかよくたしかめ、押売り同様人勢の力で撃退するようにする

一、二、三人組んでくる者は心配ないが単独の者にも特に注意する

一、万一被害を受けた場合は人相、特徴などよく覚えておき、一刻も早く警察または一一〇番を利用して急報する

性病科 佐藤医院 国電田町駅下車二分 電三田(45)〇〇二五



【写真は日劇楽屋にて】

初場所稽古場めぐり ①

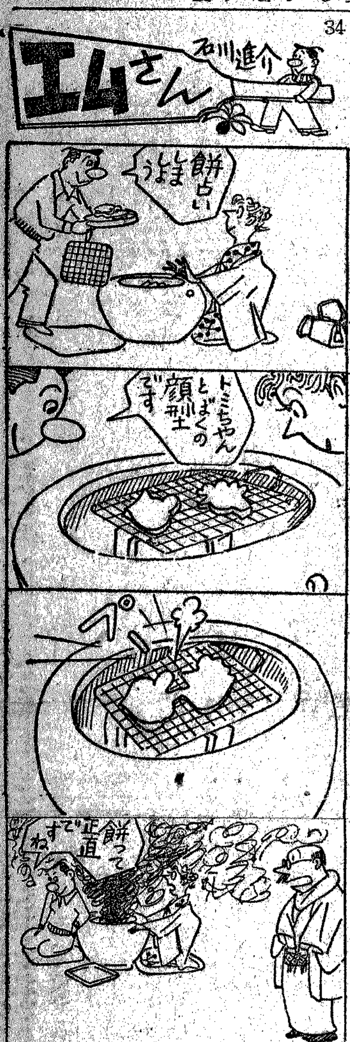
絶対強い千代ノ山

新鋭ずらり体当り練習

ギセーブしているようだった新入幕の秀湊や新柄光らも千代

役復帰を期して師範代格でけいこをリードする、時津山は巡業中右

〇チップ社交場 神田 サロン松



④荒川和子

さては何かあるぞ 上々吉・初占いでニッコリ

○…トランプの初占い『あらできたワ』と楽屋で白魚のような手を叩いて喜んでいるのは日劇ダンシングチームの人気者荒川和子さん、ニックネームは『とんちゃん』

○…ベビーチーム出身でいまや姐さん株だが、初春興行の『新春スターパレード』でも中心になって大ハリキリで踊りまくっている、『お雑煮もろくろく食べられないのよ』そんな忙しい幕間に、ちょっと〝今年の占い〟をやってたところをパチリ

○…『ことしの抱負だなんて、そんな…ウフフフ』とほかしたが初春早々独り占いとはなにかあるらしい、しかも占いは大吉と出たのだから、いとも嬉しげにニッコリ笑ってみせたのも当然、あわただしい中にもなごやかな初春の楽屋点景ではあった

今晩のラジオ 5日（水）

	【NHK第1】	【NHK第2】	【ラジオ東京】	【日本文化】	【ニッポン放送】
6	00 ❶子供のシンブン❷童謡組曲 藤山一郎ほか 25 オテナの塔（2）	00 医学の時間 林塩 30 科学の散歩『松の緑』前川文夫	10 劇『こんちは横丁』 25 ファイヴ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇『すずらん太郎』 15 上田剛とファイヴ 45 スポーツ・ニュース	00 劇『ポツポちゃん』 20 時代活劇『銀蛇の窟』 35 歌謡百貨店 津村謙他
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 即興劇場 舞台監督藤倉修一 加藤玉枝ほか	00 名曲鑑賞 弦楽四重奏曲ト長調モーツアルト作 30 録音構成『明るいなかま』餃浜青年文化会にて	10 録音ニュース 20 美空ひばりの歌 30 安川加寿子のピアノ夜想曲変ニ長調ほか	00 録音ニュース 10 林伊佐緒 照菊の歌 30 ❶音曲吹寄せ かつ江❷落語『国なまり』小文治	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた内海突破他 30 私のヒツト・ソング 渡久地政信篇 照菊ほか
8	00 ❶落語『かつぎ屋』柳枝❷漫才『お笑い婦系図』英二・喜美江❸落語『相撲放送』金馬	05 座談会『今年の世界はどう動く』枝松茂之ほか 30 農村の歩み『村議会と婦人達』語り手渋谷アナ	00 劇『川のある下町の話』根上淳 有馬稲子ほか 30 越路ヒツトパレード ブルーリズム管弦楽団	00 浪曲『夕立勘五郎』玉川勝太郎 曲師菊江 30 劇『青い孔雀』阿里道子 木目田コノミほか	00 ❶一人トーキーかつ江❷落語『金は回る』円馬 30 モダン・ミユージツクタイム ル・コンバほか
9	05 ニュース解説坂田二郎 15 シンフオニーホール 朝の歌 プーランク作曲 ピアノ松浦豊明 ほか	00 舞台中継『神明恵和合取組』新橋演舞場 松緑梅幸 九朗右衛門 左団次 海老蔵 彦三郎ほか	10 劇『ホガラカさん』中村伸郎 轟夕起子ほか 30 ❶時事小唄 石田一松❷落語『千早ふる』円遊	00 お好み歌謡曲 菅原ツヅ子 春日八郎ほか 30 S盤アワー グレン・ミラー楽団ほか	00 浪花節『春や深川』（1）東家浦太郎 30 劇『目白三平物語』宇野重吉 小夜福子ほか
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人 幸田弘子ほか 40 ラジオ喫煙室森繁久弥	00 ❶初級解析 尾崎繁雄❷上級英語 石橋幸太郎 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇『新撰組』木村功他 30 スコキアンほか	00 英文法 野原三郎 30 国語（現代文）塩田良平	00 劇『裸一貫』滝沢修他 35 巴里の街角 解説芦原英了 歌フランソワ
11	10 海外の話題 20 ❶明日の話題❷随筆 昔の凧揚げ 水原秋桜子	00 新しい年を迎えて『近代経営今年の話題』清水晶◇新聞論調	10 二元討論会『今年の闘い』森田たまほか 45 ポピユラー音楽	00 チャイコフスキーの交響曲第4番 指揮フルトヴェングラー	15 マイク・スナツプ 40 国立公園のこと 岡田紅陽▽夜の軽音楽
あすの番組	7・45 朝の訪問 重光葵 8・05 洋琴協奏曲『戴冠式』 8・30 明治大正外交秘話（1）信夫淳平 9・45 青いノート 木崎豊 10・05 けさの話題 三神茂 11・15 随筆集『縁側』ほか 12・30 ラジオコメディ 1・05 音楽物語『書娘』 2・05 講談『徂来の豆腐』	8・00 療養文芸新年歌の会 8・30 メンデルスゾーンの交響曲『スコットランド』 9・15 なかよし日記 9・45 弦楽四重奏曲『鳥』 10・10 雪と闘うラツセル車 11・30 問題児の教育中村舜 12・30 タンゴは招く 1・15 交響曲の時間 2・00 社会人ラグビー試合	8・35 劇『花のゆくえ』 9・05 チヤツカリ夫人 10・10 名作アルバム婦系図 11・45 歌謡曲 菊池章子他 12・15 歌謡漫談▽歌謡曲 1・30 座談会新春女性風俗 2・05 コメディ『ハムレツト・スタイル』 3・10 歌のキヤビネツト 4・05 邦楽 浄るりの味	8・25 劇『ミナモトさん』 10・40 劇『君ひとすじに』 11・00 歌謡曲 近江俊郎他 11・35 劇『東京の人』 12・00 話の縺 牧野周一 12・30 リンレイスアルバム 1・25 ラジオ寄席▽歌謡曲 2・30 箏曲 塚本雅子ほか 3・40 イタリアからの贈物 4・00 コンサート・ホール	8.10 劇『おとこ大学』 9.00 劇『サザエさん』 9.45 歌とお話 河村順子 10.00 きんぴら先生青春記 11.00 劇『胡椒息子』 11.45 歌謡物語 古賀政男 12.00 漫才オサム・ミツル 1.00 劇『夫婦舟』日高久 1.50 ラジオ文庫『日本橋』 2.00 権九郎帰国日記

テレビ

NHKテレビ

6・00 漫画『アンクルトム』
6・40 世相漫画川柳風景
7・15 こんにゃく問答 徳川夢声 柳家金語楼
7・30 漫才 こいし・いとし

日本テレビ

6・00 世界ニュース
6・15 南の島のお正月
6・30 ゼスチュアクイズ
7・30 邦舞 長唄『紀州道成寺』西川鯉三郎他
8・10 演芸 今輔 千太・万吉 円歌ほか
9・10 金語楼のおばあさん 金語楼ほか

☆NHKテレビ☆

12・15 スポーツ・ニュース
12・30 ジヤズ・コンサート
1・00 箏と尺八 岸辺成雄
1・20 家庭を描いた名画
1・40 サツカー実況

☆日本テレビ☆

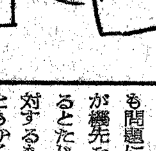
10・50 東京消防出初式実況
12・15 青春カレンダー
12・35 僕の歌君の歌

錦、輝昇とともに申し合いに励んでいるが大関三根山は昨秋以来の腰部神経痛に気力すぐれない模様だ、大阪の王座戦には本来の調子を取戻していたので多くは望めないまでも優勝を目指す力士にとっては無気味な存在だ、だいたい三根山のけいこは若い者相手の調整に重点を置いているようだ

吉葉は秋場所と王座戦を経て自信を固めて見事な回復ぶりで、体力は充実して組みとめれば輝も二瀬も問題にならない強さ、しかし輝が機先を制して力一杯突張って出るとたじたじとなる所は突張りに対するもろさがあるようだった、ともかく千代、栃と並んで優勝争いの第一線に立つ吉葉の奮闘はまずみものである（伊沢）

あすのスポーツ △スケート 全日本大学選手権（十二時半、神宮）△ボクシング 全日本選手権試合スピーデー1章対三迫仁志、小室対佐々木（六時、後楽園）△競馬 浦和

独眼灯



○…五日未明池袋西口盛り場内で、女だてらに縄張り争いから大喧嘩が起り、平和を意味するヒツジ年の年明けに人々を驚ろかした

○…五日午前三時ごろ豊島区池袋二の八六六先路上で同町二の一一四四飲食店主岩沢千代(三七)は同町二の一一二一おでん業江口きみ子さん(四三)の胸ぐらを捉え、殴る蹴るの実戦、女レスリング？にアレヨアレヨの大騒ぎ、きみさんは顔、足に傷をうけ両名池袋署へ…

○…ことの起りは岩沢の店の前に江口さんがおでん屋台を引っぱり込んだため『こゝはアタイの縄張りよ、つべこべいうな』と戦闘開始となったワケ『元日の朝氷川さまに今年は羊のようにおとなしく過ごせますように祈ったばかりなのに…』と岩沢はしょげていた

浪人街道（28）

木村荘十　作
野口昂明　画

媚情（四）

『恐れ入りますが…』
納戸役は、困惑の様でいった。
『せめて一日でもお待ちを願って…』
『それは駄目だ。先方は余に、恥辱を与えようとしているのだ。何か品物を質物にしてもよい、何とか五十両まとまらぬか』
『はい』
『是非都合してくれ』
『お越し先は？』
『中洲の四季庵という料理茶屋とか申していた』
『よろしゅう御座います、一っ時お待ち下されば、手前、その四季庵まで、お届け申上ます』
『都合してくれるか…だが、その金が届かぬと、余は満座の中で恥をかかねばならぬ…』



『何かお品物を拝借出来ますれば、必ず、一っ時の間にお届け申上ます、若し、それに遅れましたら、手前、四季庵にて、皆様の御前で、割腹仕ります』
『馬鹿を申せ。それほどのことで、そちに腹を切らせられるか。その見込みを聞けばそれでよい。若しもの時は、主従一緒に恥をかくさ』
『ははッ、有難きお言葉』
『おいおい、そう堅くなられては挨拶に困る。余にいわせれば大体、貧乏などは恥のうちに入らぬものなのだが、このご治世だからな。金の無いのを首のないように騒ぐのだ。賄賂でも取る気なら、そち達に、こんな苦労はかけぬのだが…』
『恐れ入ります』
『では、しかと頼んだぞ』
『はッ…それでは、手元に御座いますだけでも、お持ち戴いて、後は早速御届け致します』
『そうか。そうだったな…それから、菓子を届けろなどと申しておるが、その辺のことは母上がよく御存じだ、ご相談して、然るべく頼む』

啓之助は、廿両あまりの金を懐中にしっかりと入れて家を出たが四季庵につくと、堀田は、顔を見るなり、不機嫌にいい放った。
『貴殿は、いったい、今頃まで、何処を出歩いていたのだ。使の話では、行先も分らず、供もつれずとのことだが、御番入でもしようという歴々の旗本が軽々しい。われ等の体面にもかかわることだ。以後はちとたしなみなされ』
啓之助は、その歴々の旗本が、岡場所などで密かに芸者寄合などをしている矛盾が おかしかったが、おとなしく遅参の詫をして座についた。
が、座ると間もなく、女将らしい女が、亭主役の次の末席についた原播磨のところへ来て何か囁いた。
原は、啓之助の袖をひいていった。
『金子が要るが、納戸役を連れて来たろうな』
『いや、場所柄ゆえ、身共独りで参りましたが…』
『困った御人だ。どうする？』
原の顔には残忍な嘲りの色があった。
主席の堀田河内守がチラリと原と視線を合わせて、知らぬ顔で煙草をふかしている。
啓之助は、それに気がついて、察した通りと思ったが、
『少々なれば、手前持合せが御座いますが』
と答えた。
『ご亭主をなさる方が、少々持合せとは…これは困ったことになりそうですな』
原は眼に嘲りの色を浮べていった。

金の椅子 ―狙って―



[illegible]

今や争奪戦酣わ
第一作は東宝総出演の大作
田中友幸説が最強力

大ヌード・ドラマを夢想しています、大阪にて…　伊吹まり
今年も機嫌よくカンパイ！　伊吹まり
裸一貫、これほど強いものはないでしょう、今年も元気でハリキリます　メリー松原
味噌雑煮、七十五日生きのびる　大阪OSにて…　奈良あけみ
今年もどうか大砲よりもストリップの繁栄する年でありますように…　メリー真珠

第一作めぐる火花
再起近い原節子

昨年一月眼疾のためスクリーンから姿を消して丸一ヵ年、ついに十一月には慶応病院に入院、手術を行った原節子の病状は、その後至極良好で、この春には退院さえ伝えられているが、映画界は早くも彼女の再起第一作をめぐってその争奪戦に火花を散らしている模様である、そこで原節子の周囲から何人かのプロデューサーをクローズ・アップして、その企画を探ってみた

まず第一候補として名乗りを上げているのが彼女のマネジャー格である星野和平氏で、すでに東宝製[illegible]は星野プロデューサーが握るだろうと見る向が多い、しかしこれについて星野氏に親しい某俳優にき[illegible]



再起近い原節子

[illegible]ヤッサモッサやっているわけだ 東宝からは田中友幸、滝村和男という線も、出ているという話だ』と語っている、そこで東宝の企画を見ると、それぞれごく内密に話を進めているものらしく、本年度上半期のライン・アップにはそれらしい作品は見当らず、田中、滝村両プロデューサーともにオリジナル・シナリオで企画を練っているものといわれ、殊に滝村氏の提出作は天然色でという話もある、しかし彼女の病気が眼であるだけにライトが白黒作品の四倍という色彩ものでは第一作には到底無理だろうというところから、もし東宝の契約プロデューサーがやるとなれば、田中友幸説が強力になるわけ

東宝企画本部加納次長はこれについて
『三月末から四月にかけて正式に決定をみるだろうが、かんじんの原節子が完全に治っていない以上どうすることもできない もちろん第一作は東宝映画だが田中友幸にしろ滝村和男、本木荘二郎、誰がやるにしても東宝総出演の大作になるだろう』といっている

ミルクおしるこ　新橋　三好堅

ただ全快を待つのみ
引く手あまたの節ちゃん

さて東宝以外で第一作となると まず日活の山本武プロデューサーがダークホース的存在としてのぼっている『麦秋』『晩春』『東京物語』と松竹時代、小津監督で彼女の優秀作品の殆ど製作した実績があるだけに[illegible]か山本説も強く、日活春[illegible]してすでに脚本斎藤良輔、[illegible]二郎共作で執筆中といわれ[illegible]も小津監督の日活第一回作[illegible]るという噂もある、最近[illegible]デューサーの紹介で日活入[illegible]企画部の某氏は
『日活で小津さんが今年[illegible]いう話もきいている、[illegible]節子が出るかどうかは知[illegible]

『姉妹』二月完成

松竹では中央映画製作『姉妹』（監督家城巳代治）の配給を行う、一[illegible]旬クランクイン、二月一杯で[illegible]することになっているが、松[illegible]ら野添ひとみが出演するはず

【催し】明大演劇研究部正月公演 一月六、七日一時、神田[illegible]講堂、加藤道夫作『なよたけ』、演出永井康雄

新人らしからぬ演技
―達者すぎて扱いにくい―
映画　高友子

[illegible]“の男”で節ちゃんは東映に出た[illegible]物』で北原三枝と[illegible]で主役に抜擢され[illegible]運をつかんでいる

それからの彼女　ひまがあると、いつも口のなかでブツブツつぶやいてセリフの反芻をしているというが、まったく仕事をするのが楽しくて仕方がないらしい、これは良いことには違いないのだが秀才はとかく“点取虫”といって嫌われることもあるというもの、まずは適当に『ホープ』さらしくカマトトに…（藤）

国劇「春のおどり」廿日開幕



松竹歌劇団の恒例第五回『春のおどり』全十四景は 廿日から浅草国際劇場に華々しく開幕されることになった、構成は山口国敏、演出は原浩一、振付は山口国敏、飛鳥亮、花柳啓之、福井日出夫、松見登、装置は吉田謙吉、国東清といったスタッフだが、川路竜子、小月冴子、南条名美ら主力数十名は十日大阪産経会館の新春公演を打揚げて帰京、直ちに稽古に入る また上原町子、磯野千鳥、小柳久子らを主力とする東南アジア派遣組は目下バンコックのクインス劇場で好評のうちに続演中で、シンガポール、マニラ等からも公演申込みが殺到している

写真は『春のおどり』に新編成のスリー・パールズ、左から千茅照美、深草笙子、若原柳子

ため、この『春のおどり』には間に合わぬ模様

そのため『春のおどり』では相当数の新人群が抜擢されることになるが、中でもSKDの名物トリオ“スリー・パールズ”に四邦邦代、明石月子に代って千茅照美、若原柳子の二人がピック・アップされ、深草笙子と競演するのが話題を集めている
若原柳子は五期生で準幹部待遇千茅照美は七期生で技芸員、大船の佐々木啓輔監督の愛娘である

東映作品　隼の魔王
映画やぶにらみ

▽…プロ野球をめぐって大掛りな賭ばくを行っている一団がいる、彼等はその都合上優秀な選手を次々と殺して行くのだが、そうした連続殺人事件を解明するためにお馴染の名探偵多羅尾伴内（片岡千恵蔵）が登場して来る、比佐芳武の原作・脚色、演出松田定次



【写真はその一場面、千恵蔵と喜多川】

▽…千恵蔵が例の通り“七つの顔”に変装して現れるのだが、どの顔もどの顔もひと眼で千恵蔵だと判ってしまうのには興ざめだ、だから如何にスゴンでみようとも大体底の割れてしまうのは大方の想像のとおり、この悪玉一味に最後のオトリにされるのが波山進と田代百合子の恋人同士、製材所の丸ノコに縛りつけられて、あわや…などという手はいささか紙芝居じみている、やはりこの事件に取組んでいる別の私立探偵社の女探偵（喜多川千鶴）と多羅尾伴内のやりとりをもうひと工夫すれば変った形のものになったかもしれない、千恵蔵が実に楽しそうなのが印象に残る（静）

寄席初席

▽上野鈴本＝（昼）圓太郎、馬風、小柏山、百生、馬生、小さん、正蔵、柳枝、さん馬、貞丈、孫三郎、圓歌、千太・万吉、圓生、文楽（夜）小圓朝、つばめ、和子・〆子、圓蔵、かつ江、右女助、貞山、金馬、龍光、英二・喜美江、小仙・小金、文楽
▽新宿末広＝（十一時から）權太樓、小柳枝、圓馬、痴楽、びん助・美代鶴、牧野周一、紋也、柳橋（二時から）猫八、美橘、遊三、今輔、三木助、雛太郎、馬琴、柳好、三額松、正楽、柳橋（五時から）助六、寿輔、小金治、李彩、寿獅子、菊春、可楽、ひろし・まり、三額松、小文治
▽池袋演芸場＝（昼）志ん好、喜代太夫、歌奴、千太・万吉、馬楽、正蔵、柳枝、かつ江、貞山、右女助、染の助・染太郎、圓歌（夜）今松、馬風、三平、貞丈、鯉香、圓生、孫三郎、圓蔵、美蝶、さん馬、小さん、千太・万吉、志ん生
▽人形町末広＝小圓馬、花島、柳昇、章吾・雪枝、圓馬、痴楽、圓遊、可楽、ひろし・まり、三木助、牧野周一、桃太郎、小文治、柳橋、馬琴、今輔、正楽、柳好
▽川崎演芸場＝（昼）照蔵、小圓朝、富士夫、右女助、貞吉、小せん、圓蔵、さん馬、悦郎・艶子、柳枝（夜）小伴治、小きん、柳枝、龍光、正蔵、小さん、百生、笙子・美智子、貞山、圓生
▽十番倶楽部＝三五郎・芳江、夢楽、雛太郎、玉遊、金太郎、圓馬、びん助・美代鶴、柳橋、さくら、小柳枝、猫八、圓遊、ひろし・まり、桃太郎、技雀、三木助
▽浅草末広＝（昼）りゅう馬、伸治、梅橋、助六、菊春、痴楽、今輔、三木助、李彩、小文治（夜）小柳枝、權太樓、遊三、小文治、米丸、正楽、馬琴、雛太郎、痴楽、柳好、牧野周一、びん助・美代鶴、可楽、寿獅子

松竹日仏合作映画計画

松竹ではこんどフランスとの合作映画を計画している、これはパテ・オーバシーズ社長ジャック・アンドレフェ氏の来日によって、話が急速に進展しつつあるもので同氏は、監督としてはインドを背景の『河』を製作したジャン・ルノワールを推しており、一月中旬までに具体的決定をみることになっている

おしゃべり横丁



―ストリップ劇場―
初詣で賑わう　バタフライに鳥居をつけようか

都々逸　石井きんざ選



通勤電車で見る脚線美 見とれてシマッタ乗りすごし　武蔵野・米島佳郎
僕には出来ないマゾヒズム 罪もないのに殴れだなんて　世田谷・森山阿呆坊
逢えばモジモジ意気地なし 手紙じゃ書けるにどうしていえぬ　高崎・五十嵐源太郎
つかる昨夕とおなじ風呂 けさから他人じゃないふたありで　船橋・今井ちさと
三か五と出れば上るに四と出る賽は 誰れかによく似た意信地者　選者

はと笛

▽…浅草フランス座の栗田輝子は毎年お正月になると必ずおナカの調子が悪くなるという厄介な持病にとりつかれている、今年もその通り顔はむくむ、お腹はデッパる、舞台が終っても三階の楽屋まで登るのに一苦労の態
▽…さて楽屋にたどりつくと鏡に顔をうつしてジロジロ『去年もその前もこうだったのでお正月のおモチは一つも食べてないのヨ、今年もヨ、でもみんなお雑煮を食べて一つずつ年を取っていくけどわたしは三年前から全然年はとってないんですもの、いゝわ』だって…



【写真は栗田輝子】





[illegible]